

千葉商科大学国府台学会会則（抜粋）

第 2 条 本会は、会員の研究助成とその発表普及を目的とする。

第 3 条 本会は、千葉商科大学の専任教員をもって組織する。

第 4 条 本会は、次の事業を行なう。

1. 機関誌『千葉商大論叢』『千葉商大紀要』の発行。
2. 各種研究会・講演会の開催。
3. その他本会の目的を達成するために相当と認められる事業。

第 5 条 本会に次の役員をおく。

1. 会長 学長がこれにあたる。
2. 運営委員長 運営委員の互選による。
3. 運営委員若干名 会員総会で選出され任期は1年とし本会の事務を分担する。

前号目次

巻頭の辞	島田晴雄
影山僖一名誉教授のこと	小倉信次
高木泰典先生のご定年退職によせて	榊岡源一郎
影山僖一先生略歴および業績	
高木泰典先生略歴および業績	

論 説

財産分与をめぐる課税について	今村修(1)
IAS/IFRSの会計目的観と資産認識基準の一貫性に 関する一考察	千葉啓司(11)
オルタナティブ投資の在り方について	平井友行(23)
ブラシストロークと動的輪郭モデルを用いた髪の毛の レンタルリング	鎌田光宣(31)
社会保障における新自由主義政策の展開	種山守夫(41)
耐用年数の再検討(2)	谷川喜美江(73)

研究ノート

チャールズ・バベッジの原価管理思想(IV) — 著書・第1部「生産技術からみた経営管理の研究」 (2)について —	佐藤正雄(87)
「株主資本等変動計算書」について	榊岡源一郎(101)
監査に関するEUの動向 — 監査の同等性評価と日本への影響 —	土屋和之(113)
Notes on the Private α -core and Coarse α -core in Strategic Form Games	UTSUMI, Yukihisa(125)